

## 第2回小平市立学校給食共同調理場運営委員会次第

日 時 平成28年12月13日(火) 15:30~

場 所 学校給食センター会議室

### 1 開会

### 2 教育長あいさつ

### 3 委員長あいさつ

### 4 議 題

#### (1) 協議事項

#### (2) 報告事項

①給食食材の放射能検査結果について……………資料No.1

②食育メールマガジンの配信について……………資料No.2

③ブルーベリーゼリーラベルデザインの選定結果について……………資料No.3

④食育に関する活動報告について(食育授業、食育講演会等)

⑤学校給食センターの施設更新について……………資料No.4

#### (3) その他

## 議 事 要 録

- 所長 皆さん、こんにちは。お忙しい中出席をいただきありがとうございます。  
これより、平成28年度第2回共同調理場運営委員会を開催いたします。まず初めに関口前教育長の任期満了に伴い本年10月より新たに古川教育長が就任いたしておりますので委員の皆さまへ古川教育長よりご挨拶申し上げます。
- 教育長 皆さん、こんにちは。  
本年10月1日から、教育長に就任いたしました古川正之でございます。本日は、ご多用のところ、学校給食共同調理場運営委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。  
私は、この9月まで18年余りの間、小平市の小学校に勤務してまいりました。そして、教育長となる直前までは、小平第六小学校の校長をしておりました。  
小平市では、どの学校におきましても食育への取組みに力を入れて ありますが、小平第六小学校は市内で唯一の栄養教諭が配置されていたこともありまして、学校給食を通じた活動が盛んに行なわれてきました。  
今年度は、学校給食センターにおきましても、栄養士のうち1名が栄養教諭に変わりました。この栄養教諭は、同時に小平第二中学校の配属となっております、兼務する形で仕事をしております。中学校での栄養教諭の配属は、小平市では初めてとなりますので、今後、中学校における食育のさらなる推進が期待されるところでございます。  
さて、本日の会議でございますが、給食食材の放射能検査結果のほか、食育に関する活動報告、学校給食センターの施設更新などについての報告をさせていただきますので、ご意見、ご質問などいただければと存じます。  
教育委員会では、今後も安全で安心な給食の提供に対する責任は、増していくという認識のもと、学校給食のさらなる向上に向け、一層の努力を重ねてまいりますので、委員の皆様方のご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。  
以上、簡単でございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。
- 所長 次に、運営委員会委員長よりご挨拶をお願いいたします。
- 委員長 委員長の五十嵐でございます。台風の影響で野菜の手配が大変なところ、野菜がたくさん入った給食を作ってくださいありがとうございます。本日は皆さんの関心の高い内容となる学校給食センターの施設更新についても話し合う予定となっております。有意義な会となりますよう御協力をお願いいたします。
- 所長 ありがとうございます。ここで教育長は所用がございますので退席させていただきます。  
これより先の議事進行は、委員長にお願いしたいと思います。
- 委員長 それでは次第に沿って進めさせていただきます。  
次第4（1）協議事項はございますか。

所長 特にございませぬ。

委員長 次に次第４（２）報告事項の第１点目として、給食食材の放射能検査結果について事務局から説明をお願いします。

所長 資料No.1をご覧ください。小平市では東日本大震災にともなう原子力発電所放射能漏れ事故以降、給食食材の安全性を確保するため、小学校は毎月の輪番制で、中学校は毎月５品目を選定し検査を実施しております。  
検査結果については、市及び学校給食センターのホームページに公開しております。中学校給食では、毎回牛乳は検査することとなっております。お手元の資料は６月分から１１月分をお示ししております。結果については、いずれも不検出となっております。

委員長 この件につきまして、何かご質問はありますか。  
特に無いようでしたら次に移ります。

委員長 報告事項②の食育メールマガジンについて事務局から説明をお願いします。

所長 資料No.2をご覧ください。学校給食センターでは１１月１日より毎日の献立や食育に関する知識を掲載したメールマガジンを配信しております。学校給食を通じた食育には学校、家庭、学校給食センターの連携が不可欠であると考えております。そこで学校給食センターがどのような食育を行っているか、あるいは今日の献立は何だったのかを保護者の方にお知らせすることにより、ご家庭での食育活動のきっかけにしたいというものです。今後は試食会等で購読者の増えるよう広報活動を行ってまいります。説明は以上です。

委員長 この件につきまして、何かご質問はありますか。  
特に無いようでしたら次に移ります。  
  
続きまして、報告事項③のブルーベリーゼリーラベルデザインの選定結果について事務局より説明をお願いします。

所長 資料No.3をご覧ください。中学校給食では１０月１０日の目の愛護デーにちなみ、目に良いとされる小平産ブルーベリーを原料としたゼリーを献立に取り入れています。また、食育の一環として昨年度からはゼリーのラベルデザインを生徒に公募しております。平成２７年度では１８作品だったところ今年度は５６作品の応募がありました。今年度から武蔵美術大学視覚伝達デザイン学科の齋藤教授にも審査にご参加いた

だき最優秀賞に花小金南中学校の1年生の生徒が選ばれました。ゼリーについては予定通り10月7日・11日に配食いたしました。

なお、ラベルの作成費用はJAむさし小平支店様に費用を負担いただきました。

委員長 この件につきまして、何かご質問はありますか。

委員 リーフレット等における栄養成分の表現について確認ですが、いわゆる健康食品について医薬品等と誤認されるような表示しないよう規制があるはず。この場合の表示内容について確認したほうがよいのでは。

所長 規制内容について確認いたします。すでにこちらのリーフレットは配布しておりますので次年度において反映できるよう調査いたします。

委員長 その他に無いようでしたら次に報告事項④について事務局より説明をお願いします。

所長 資料はございません。中学校給食では昨今の食育活動への重要性や関心の高まりに伴い、学校給食センターでは食を通じた教育活動の推進を図っております。平成28年度における食育活動につきましても途中経過ではございますがご報告させていただきます。

まず、9月23日に上水中の1年生を対象に「成長期におけるカルシウム」の食育授業を行いました。続きまして10月8日に小平五中の全校生徒を対象に食育講演会を行いました。郷土料理「糰うどん」をテーマに学校給食センターの栄養士と市内うどん店の店主が講師として講演会を行いました。

また、四中の給食委員会からオリンピック関連で世界の料理を研究するので給食の献立に取り上げて欲しいとの依頼をいただきまして、イタリアと中東の国であるカタールの献立を12月の給食で配食いたしました。

その他、リクエスト給食ということで「白いごはんに合うおかず」ベスト3を全校の給食委員会を通じて各校にアンケートを実施しております。リクエストいただいたおかずについては3学期の給食の献立に随時、反映していきます。

また、本年度より配置されております栄養教諭が小平二中において食育活動を行っております。

具体的な活動としては家庭科において農家の方の話などをもとに、地場産野菜の魅力や生産者の苦労などを学ぶ授業を実施しました。その他、地場産野菜を使用した「けんちん汁」の調理実習も実施しております。

また、特別支援学級でフルーツ白玉や蒸しプリンなどのデザート作り、郷土料理である糰うどん作りなども実施しています。

説明は以上です。

委員長 この件について何か質問はありますか。

委員 意見ではないですが、四中の件について報告いたします。オリンピック・パラリンピックにちなみ保健給食委員会が中心になって、外国の食文化について調べました。その際に学校給食センターに御協力いただき給食の献立に反映いただいたものです。ありがとうございました。

委員長 特に無ければ報告事項⑤学校給食センターの施設更新について事務局より説明をお願いします。

所長 資料No.4をご覧ください。

小平市立学校給食センターは、市立中学校に米飯及び副食給食を供給するため、昭和57年に設置され、平成28年度で35年目を迎えました。調理機器等の設備機器は定期的に保守及び更新を行っていますが、建物については、目標耐用年数の25年を経過しており、このまま継続的に使用していくことは困難と考え、新たな業務委託の手法であるPFI手法を視野に入れながら建て替えに向けて検討を行っております。

現在の小平市における中学校給食は、共同調理場方式により、市内中学校8校分の給食を、学校給食センターにおいて一括で調理を行い配送しています。また、開設以来、調理・配送等の業務を民間企業に委託し運営を行っています。

現在の学校給食センターの課題でございますが、まず、施設の老朽化への対策がございます。調理設備機械、廃水処理施設、ボイラー及び蒸気管等の老朽化が挙げられます。センター内には大型の調理機器が多数ございます。いずれもオーバーホールを行っておりますが更新時期を迎えております。大型調理機器は人的労力の軽減など大きなメリットがございますが、不具合が起きた場合には給食を中止する事態が生じる可能性もあるため、適切な管理が必要でございます。廃水処理施設ですが、一日80～100tの水を使用しており、場内の施設で浄化し下水道へ排水しています。施設の設計が古いため脱臭装置等の装置が無く周辺の住環境へ配慮した装置の設置が必要です。また、ボイラー設備についても老朽化による更新が必要です。

衛生管理においては学校給食衛生管理基準が求めるレベルに達していない施設配置となっております。汚染区域、非汚染区域の十分な動線の確保が求められております。また、施設の課題の一つともいえますが、アレルギー対応食のための専用調理室が無いため、個々の生徒に対するきめ細やかな対応ができておりません。

また、食育の推進についてですが、現状では栄養教諭の配置等で対応している中で今後も食育を重視した対応が必要となってきます。

その他に将来の生徒数の減少を見据えた柔軟な施設運営が求められています。また、公共施設としての役割として環境への配慮、災害対応、バリアフリー、見学スペース等の役割が求められております。

以上が学校給食センターの課題あるいは求められる役割となっております。続きまして現在までの検討状況でございますが、まず1点目に共同調理場方式に

よる運営の継続がございませぬ。長年の経験・ノウハウの蓄積、大量調理のメリット、試食会等を通じて保護者から一定の評価を得ている点を踏まえまして共同調理場方式による給食の提供を継続してまいります。ちなみに学校内に調理場を設置するいわゆる「単独校方式」についてですが、次のような課題がございませぬ。各校の敷地内に調理室設置に必要な敷地の確保が必要な点、分散型のため建設・運営にコストがかかる点、全校に設置が完了するまで長期に渡り、現学校給食センターを維持する必要がある点、各校で管理運営するため学校側の負担が増す点が主な課題として挙げられます。以上を踏まえまして、実現可能性・早急な課題解決・効率的な運営の観点より共同調理場方式が望ましいと考えております。

次に2点目として建替え用地の選定ですが、建替えに向けては用地の選定が必要となります。現在の給食提供を継続しつつ、建替えが行えるよう新たな用地の確保を目指しているところです。現在地で建て替えの場合、建設中の1年～1年半程度の間、給食の提供を中止する可能性がございませぬ。

用地選定の前提として都市計画の用途地域として工業地域・準工業地域であること、4,500㎡前後の敷地面積が理想であること、調理後2時間以内に生徒が喫食できる場所であることが条件となります。現在の用地選定の状況ですが市内では前提条件に該当する地域が限られており、用地の確保には至っていないのが現状でございませぬ。今後ですが新たな用地の確保に向けて検討中ですが、建替え可能な適地が無いと判断された場合には現在地での建替えを検討いたします。この場合、代替給食についての検討も必要となる見込みでございませぬ。

次に3点目ですが、新たな民間委託方式であるPFI手法の導入を検討しております。現在の中学校給食では調理・配送について民間委託をしています。今後は建替えを機に可能な限り業務委託を進めることにより、効率的、効果的な公共サービスの提供を図るPFI手法の導入を検討しています。全国で400以上の事例があり、学校給食センターについては、全国で50の事例があります。ちなみに近隣では立川市が導入してございませぬ。

PFI手法の特徴ですが、設計会社、建設会社、調理機器会社、調理会社、配送会社等の各企業が中学校給食のために特別目的会社（SPC）を組織いたします。この特別目的会社が一貫して担当するため、実際の調理作業を見越した計画的な施設の設計や調理機器の設置などによりコストメリットが生まれるほか、効果的なリスクの負担が図られる点がございませぬ。また、建設費等の費用は、まずはPFI事業者が負担し、その後、市は15～25年かけてPFI事業者に費用を支払いますので、民間の資金、経営能力を活かしつつ、費用の平準化が図られる点がございませぬ。

新たな手法ですが、市の栄養士が献立を作成し食材を調達する役割に変更はございませぬ。また、学校における給食提供の形式も変更ありません。さらに付加価値を付けることは、条件が整えば可能でございませぬ。

小平市では平成26年度にPFI導入可能性調査を実施いたしました。調査の結果、一定の費用削減効果が得られること、民間業者より参加意向が示され市場性・競争性が確保されることがわかり、PFI手法の有効性が確認できております。

今後のスケジュールですが仮に平成29年度において用地が決定した場合には最短で平成33年度の運用開始となります。

説明は以上でございませぬ。

- 委員長 この件について質問はございますか。
- 委員 用地の選定を続けているとのことだが、選定の期限を設けているのか。何をいつまで進めて、どこかで現在地での建て替えと判断する等の期限を決めるべきでは。
- 学務課長 先程の説明でも申し上げましたが、まずは現行の給食を止めることがないよう現在地以外での建替えことを目指して検討しております。市内の候補地は限られておりますことから、一定の時期に現在地での建て替えについても検討することになるかと考えております。
- 委員 最近では東大和市が学校給食センターを建設しているが、検討から実際に建替えるまでどれ位の期間を要するのか。
- 所長 具体的にどれ位の期間を要したかは把握できておりませんが、東大和市の旧給食センターは2つとも昭和40年代の施設となっております。その建替えが今年度に行われていることから、ある程度の期間を要したことが想像されます。ちなみに26市の当初設置された学校給食センターの中では小平市は最後に設置された施設のため、当初設置された給食センターの中では最も新しい施設となっております。
- 委員長 その他にございますか。これ以上はあまり議論に進展が無いかと思いますので、今後の会議において事務局より適宜、進捗状況を報告してもらうことをお願いします。次第の(3)その他ですが何かございますか。よろしければ次に学務課長からご挨拶をいただきます。
- 学務課長 本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。特に施設更新についての貴重な御意見をいただきましたので、今後の参考にさせていただきます。本日はありがとうございました。
- 委員長 以上をもちまして平成28年度 第2回 共同調理場運営委員会を終了いたします。ありがとうございました。